

事業所名

放課後デイサービス ヤシの実

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		【子どもの個性を尊重し、子ども、保護者の明るい未来につながる支援】						
支援方針		子どもの将来考え家族の立場に立ち職員の最適・最善・最良な支援ができるよう研修、共育を図り施設の療育水準の継続的な向上に努めます。生活リズムの安定化、感覚調整や運動能力の向上、適切な情動への対応力をつける、適切なコミュニケーション能力の獲得と自己表現力の向上、社会性の向上を図るための集団活動の参加など長い目で見た未来に繋がる支援を念頭に置きサポートしていきます。						
営業時間		平日 (休校日)	14 (9) 時	00 (00) 分から	17 (16)	00 (00) 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人 支 援	健康・生活	子どもたちが健康で自立した生活を過ごすことができるように、スモールステップで一緒に取り組みます。 ①毎日の検温、手洗い、消毒、身だしなみチェックなどを行う ②定時に通所することによる生活リズムの安定化を図る ③植物（花や野菜）を育てたり、「食」に関する意欲、関心を引き出す食育活動の実施						
	運動・感覚	感覚刺激を取り入れた手先の細かい作業や、遊び・トレーニングで身体を動かして体幹を鍛えます。また、視覚・運動感覚の統合・協調運動の向上を図ります。 ①アイロンビーズ、ハサミやノリ、ペンを使った工作活動を通じた微細運動の導入 ②バランスボールなどを使った体幹トレーニングの実施 ③粘土遊び、スライム遊び、新聞遊びや水遊びなどを通じた感覚遊びの実施						
	認知・行動	認知の特性に合ったカリキュラム（脳トレ・パズル・お金の計算等）を使用し認知機能を高めます ①積み木や百玉そろばん、時計、タイマーなどの補助的教材を活用し視覚的支援を行う ②認知の特性を理解し入ってくる情報をわかりやすく伝え適切に処理できるように支援を行う ③畑で収穫した野菜の収穫の中で、大きさ、色、形、重さ、成長の違いなどを一緒に考えます						
	言語 コミュニケーション	様々な機会を通じて、言語の発達に合わせたコミュニケーション能力を高めます ①あいさつや日常生活の会話を通して円滑なコミュニケーションを図れるように支援します ②絵カード、身振り、手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図る ③終わりの会の実施をし、みんなの前で発表する、自分の思いを言語化する機会作りをします						
	人間関係 社会性	社会性や円滑な対人関係の発達を促していく関わりを実施していきます ①カードゲームやボードゲームを通し自己理解や他者理解を養えるように支援します ②公共の施設などに外出し、交通ルールや公共のマナーに関する知識を養う ③お買い物体験などを実施し、物の価値やお金の計算を学ぶ						
家族支援		・送迎時に学校やご家庭の様子を設け、かつ事業所の連絡手段を活用し、日々の情報共有を行い、今後の療育活動に活かします。 ・子育てに関する困りごとに対する相談援助。子どもの成長の共感・確認。			移行支援		同年代の子どもをはじめとした地域における仲間づくり。ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備。地域交流・移行先との情報共有等。	
地域支援・地域連携		・図書館や体育館などの地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ・地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。			職員の質の向上		・職員の専門性を高めるために、社内研修の充実を図ります。 ・勉強会や研修に参加し、職員が積極的に学べる環境を整えています。	
主な行事等		季節行事：お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お誕生日会等の実施 社会体験活動：就労体験、ボランティア活動 食育活動：季節の食物の栽培、収穫と調理						